

韓国で新たに口蹄疫が発生 侵入防止対策の徹底をお願いします！

- ◆ 韓国から、本年7月24日に豚で新たな確認があったと報告されました。
(発生日:7月23日、確定日:7月24日、発生場所:慶尚北道ウィソン郡)
- ◆ H23年4月に発生以来、3年3か月ぶりに確認されました。
- ◆ 韓国は、本年5月に国際獣疫事務局(OIE)により口蹄疫ワクチン接種
清浄国に認定されたばかり。

北朝鮮、ロシア、中国等
でも口蹄疫続発
日本に侵入するリスクが
高まっています！



● :発生地

○ :済州道

※ 日付は申告日
※ 出典:韓国農林畜産食品部

韓国で発生した口蹄疫

- 飼育中の1,500頭のうち、約200匹が蹄の脱落、水疱等の症状を示した。
- 今回発生した口蹄疫の血清型O型は、韓国で接種しているワクチンの型に含まれている。
- ワクチンを接種していない、又は接種から漏れた豚から発生したものと推定される。

飛騨家畜保健衛生所

TEL(0577)33-1111 FAX32-9019

E-mail:c24508@pref.gifu.lg.jp

口蹄疫とは？

▼牛や豚などがかかる感染力が非常に強い伝染病で、まず発熱や食欲不振が見られ、次によだれを流し、口やひづめ、乳房に水ぶくれができるのが特徴です。

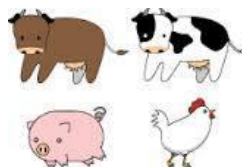
日本ではH22年4月に宮崎県で確認され、
292例 210,714頭の発生がありました。



農場へウイルスを侵入させないポイント

- ▼ 自分の農場に入る際も、靴、持ち込むものの消毒の徹底
- ▼ 外部からの人や車を農場に入れない
- ▼ 農場に立ち寄る車(タイヤや運転席)や持ち込む物は必ず消毒
- ▼ 踏込消毒槽、専用の作業着及び長靴を設置
- ▼ 発生国に滞在し、ウイルスを伝播する可能性のある人や発生国から輸入された物を農場に近づけない。渡航は控える。
- ▼ 家畜の導入は、状況を見据えて、より慎重に(導入した場合は、隔離観察を徹底)等

毎日、必ず家畜を観察して、おかしい時には、すぐに獣医師や家畜保健衛生所に連絡してください。



飛騨家畜保健衛生所

TEL(0577)33-1111 FAX32-9019

E-mail:c24508@pref.gifu.lg.jp